



# 黄色い袋と魔法のトンネル

みのゝれ20歳記念住民ミュージカル



代表 柴山真理子さん

みのゝれとMyuが共に20歳を迎えられることを心から感謝しています。舞台作品作りはお互いを理解・尊重することから始まり、仲間と協力して築き、喜びを分かち合います。これからもMyuは出会いの懸け橋となり、人々の自己表現の場、コミュニケーションを高める場、夢を叶える場として輝き続けていきたいです。

みのゝれ20歳記念公演の演目選ばれたのは、みのゝれ住民劇団演劇ファミリーMYUが8年前に制作・上演した『黄色い袋と魔法のトンネル』でした。みのゝれ近くの遠州池・池花池を舞台に、魔法のトンネルをくぐって生き物たちの世界へ飛び込んでいく小学生たちの勇気と友情の冒険ファンタジーです。登場する子どもたちが、時には悩みながらも成長を遂げるこの物語はみのゝれの成長そのものであり、20年前のこけら落とし公演『田んぼの神様』のスピンオフ作品でもあるため、当時を思い出しながら楽しむこともできました。最終日はカーテンコールが4回も続き、会場は大きな拍手と歓喜に包まれました。

本作は、小学生から80代まで100人以上のキャストやスタッフが活躍。さまざまな世代が対話を重ねて作品制作に臨みました。企画・脚本・道具・衣装・広報などあらゆる分野を自分たちで手掛け、さらにここで育った若い世代が子どもたちを導く役割を果たしたことは、この20年間の成長の確かな証となり、感慨深い記念公演となりました。

